

DME 32

ファームウェアアップグレード手順

DIGITAL MIXING ENGINE

注意: アップグレード手順によって、それまでDME32内に保存されていたデータはすべて消去されますので、コンフィグレーションデータをDME Managerソフトウェアを使ってPCにバックアップするか、PCMCIAメモリーカードにバックアップしてください。

アップグレード手順を進める前に、RS232データ転送ケーブルでPCのCOM端子にDME32のPC Control端子を接続することが必要です。また、新しいファームウェアをDME32に転送するには、Hyper Terminal(Windows OSに付属)または同等のソフトウェアが必要です。

Hyper Terminalは次の手順で設定します。

接続先: COM1(または使用している任意のCOM端子)

Bps(ビット数/秒): 38400

データビット: 8

パリティ: なし

ストップビット: 1

フローコントロール: なし

1. DME32の[STORE]キーと[0]キーを押したまま電源を入れます。
DME32のLCDに次のメッセージが表示されます。

```
System pro9 Ver.xx.xx
Install All Ready?
```

2. DME32の[RECALL]キーを押します。

```
System pro9 Ver.xx.xx
Flash-R Erasing Now...
```

次の表示が出るまでお待ちください。

```
System pro9 Ver.xx.xx
Please send to Bin file
```

3. Hyper Terminalから“ DAE.bin ”を転送します。
「Transfer」メニューから[Send File]を選択します。
[Browse]でDAE.BINファイルを探します。
Protocol: Xmodemを使用します。
4. ファイル転送中は、転送済みデータ64バケット(128バイト/バケット)ごとに“>”が表示されます。

```
System Download Ready!
>
```

```
System Download Done
```

(転送完了後)

5. 電源を一度切ってから、[RECALL]キーを押したまま電源を入れます。

```
DIAGNOSTICS V1.0
RAM INITIAL.*
```

もう一度[RECALL]キーを押します。SRAM内のデータがすべて消去されます。

```
DIAGNOSTICS V1.0
RAM INITIAL.END
```

6. 電源を切ってからもう一度入れ直します。ファームウェアがアップデートされました。これでいつでもDME32を使用することができます。